

# 色でたどる日本文化

講師：染色家・吉岡 幸雄

古来、日本人は様々な色に想いを託してきました。先人が色に託した想いは、様々な色の名前を生み出すとともに、現代に生きる我々にも豊かな日本文化の一面を垣間見せてくれます。

歴史に息づく色の文化、日本人が色に託してきた想いを、「染司よしおか」五代目当主であり、植物染の染色家として第一線で活躍する講師が解説をします。

日時	テーマ
6/3 (木) 15:30~17:00	<b>赤 - 原始よりの彩 -</b> 赤を中心に古代の日本人の色彩感を探る
7/1 (木) 15:30~17:00	<b>紫 - 高貴な色 -</b> 紫は貴い色とされる。その流れを飛鳥・奈良・平安へとたどる
9/16 (木) 15:30~17:00	<b>青 - やさしい彩り -</b> 青、緑、黄、茶など親しみのある彩りを見ながら、中世・近世を探る

吉岡 幸雄 (よしおか さちお)

染色家。1946年京都生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、美術図書出版の「紫紅社」を設立。88年「染司よしおか」五代目当主を継ぎ、伝統的な植物染による日本の色をあらわす。東大寺、法隆寺、薬師寺、石清水八幡宮などの行事で用いられる造り花、衣装、道具を製作。著書に『日本の色を染める』（岩波新書）『日本の色辞典』（紫紅社）『色の歴史手帖』（PHP研究所）『日本の色を歩く』（平凡社新書）『京都の意匠』（建築資料研究社）『日本人の愛した色』（新潮選書）など多数。



受講料：3回 7,875円 資料代160円

\* 新入会の方は入会金4,200円が必要です

お申込み・お問い合わせは

〒460-0008 名古屋市中区栄3-4-5 スカイル10階

052-249-5553

51120110



朝日カルチャーセンター  
朝日JTB・交流文化塾

名古屋

2010.4